

令和8年 第5回綾町議会(6月)

# 定例会

一般質問通告書

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 興梠</p> <p>1. RSVワクチンの定期接種化と本町の対応について</p>	<p>(1)RS ウイルス感染症ワクチン(ABRYSV0)の妊婦定期接種開始に伴い、早産・妊娠高血圧症候群・ギラン・バレー症候群等のリスクについて、米国の公文書と日本の公文書との間に記載の違いがある。町民の命と健康を守る責任ある立場として、町長の政策判断を問う。</p> <p>①国の定期接種制度と綾町の住民情報提供について</p> <p>②RSV ワクチンに関する安全性情報の認識と、コロナワクチンの教訓について</p> <p>③綾町の健康施策の理念と RSV ワクチン定期接種の位置づけ</p>

2. バイオガス事業の計画推進における住民合意形成と事業展開及び方向性について

(1) 本町でバイオガス事業が進められているが、住民や議会への情報公開が遅れ、町民の理解不足が指摘されている。町民を巻き込んだ事業にしたいとの担当課長の説明を受け、基本設計予算に賛成したが、町民との議論の機会が不足している。

① 住民への情報提供・合意形成のプロセスについて伺う。

② 財政規模・財源・優先順位について伺う。

③ ユネスコエコパークの理念・有機農業との連携について伺う。

④ 議会・住民への継続的な情報公開について伺う。

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 外山</p> <p>1. 夏休み中プールの無料券について</p>	<p>(1) 令和7年6月議会では、これまで通りの配布（小学生以下6枚・中学生3枚）と言われたが、実際には小学生以下3枚・中学生2枚の配布であった。今年フリーパスによる実施と聞いている。</p> <p>①フリーパスとなる対象範囲について伺う</p> <p>②フリーパスの実施・利用方法について伺う。</p> <p>③指定管理者への支払い方法について伺う。</p>

- |                           |                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2. 古賀根橋ダムの浚渫の進捗について       | (1) 今年の3月末に工事が完了する予定と伺っていた。古賀根橋まで車両が入れるようになれば浚渫作業が可能になるが、実際の所、工事は始まっているのか伺う。                                                                                                                                                                       |
| 3. 放課後児童クラブの過密解消と施設整備について | <p>(1) 春休み中に児童クラブ・児童館の児童80名程が外で遊んでいるのを見かけた。職員からの話では、多い時には100人いると聞いている。</p> <p>①過密状態の把握と評価について<br/>ア. 100名近い現状を町はどう捉えているのか伺う。</p> <p>②安全管理と環境維持について<br/>ア. 梅雨、夏季の熱中症や感染症、事故のリスク対策を伺う。</p> <p>③分散化の検討状況について<br/>ア. 施設を分ける、または学校教室を活用する計画はあるのか伺う。</p> |

4. 種苗担当の解雇について

(1) 人件費がかかるとして、12月に「3月で解雇する」と通知されたとのこと。これから国スポに向けて花づくりは歓迎ムードの醸成に必要と考える。閉鎖の理由を伺う。

5. 「花によるまちづくり」の推進と種苗生産体制の再構築について

(1) 来年の国スポに向け「花によるおもてなし」が重要な中、町が苗の内製をやめ、購入方針に転換したことの是非を問います。

①種苗生産中止の経緯と影響について

ア. 人件費を理由とした担当者の解雇は、これまで本町が取り組んできた「花のまちづくり」の今後にどのような影響を与えると認識しているか伺う。

②国スポに向けたおもてなし体制について

ア. 来年の国スポ開催に向け、県も花いっぱい運動を推進しているが、すべてを外部購入に頼ることで十分な質と量を確保できるのか伺う。

イ. 町独自の苗がない中で、どう「綾町らしさ」を県内外にアピールするつもりか伺う。

③「購入」か「生産」か。まちづくりの理念について

ア. 「苗は既製品を買えばよい」という考えは、本町がこれまで大切にしてきた独自の景観づくりや地域愛の醸成と矛盾しないか。

イ. 日南市などの成功事例を鑑み、自前で育てることの付加価値（コスト以上の効果）を再検討する余地はないか。

(2) 花時計は今後どのように整備される考えか伺う。

6. 小中学校兼用  
務員の労働環境改善と業務負担の軽減について

(1) 小中学校を兼務する用務員が、広大な敷地管理や児童対応で限界を迎えていると聞く。今の過酷な労働実態を町はどう認識し、人手不足になる前にどう体制を改善するのか、その方針を伺う。

7. 専門人材の有効活用による、学校・保育所等の環境整備体制の再構築について

(1)用務員が兼務と重労働で限界を迎える一方、種苗担当者2名が予算を理由に解雇された。しかし、来年の国スポに向けた花植えや、各施設の環境維持には彼らの技術が不可欠と考える。そこで、環境整備体制について伺う。

①現場の限界と人材のミスマッチについて

ア. 用務員1人に負担を強いる一方で、技術ある種苗担当者を解雇したのは、町を運営するうえでの損失と考えるが、見解を伺う。

イ. これまで蓄積された育苗の技術やノウハウの継承はどうなるのか伺う。

②「3名体制・業務シェア」について

ア. 解雇された2名を再雇用し、計3名のチームで「種苗・小中学校・保育所」の環境整備を巡回・分担する形であれば、用務員の重労働（草刈り等）を分担しつつ、保育所や学校を町独自の花で彩る「綾町らしい管理」が可能になると考えるが、再編できないか伺う。

③持続可能な「まちづくり」への投資

ア. 「苗を買えばいい」という使い捨てる考えではなく、人を育て技術を活かすことが、結果として国スポに向けたおもてなしや、職員の健康を守ることに繋がると考えるが、見解を伺う。

質問事項	質問の要旨
<p>提出議員 橋本</p> <p>1. バイオガスプラント事業について</p>	<p>(1) 事業導入の目的について</p> <p>①循環型農業の継続というが、目指す循環型は何をどのように循環させ、何をどこに還元する考えなのか伺う。</p> <p>②現在、残飯を燃やしていること自体、町民に知られていないと思っているが、燃やすことの是非を伺う。</p> <p>③町民に対し、事業導入の意義をどのように周知されているのか。また、タウンミーティングにおける町民の反応として、どのような意見が寄せられているのか伺う。</p>

2. オンデマンド  
交通について

(1) 4月以降の運行状況について

①乗車実績について詳細な報告を求める。あわせて、当初の需要予測と比較して現在の利用状況をどのように分析されているのか、町長の認識を伺う。

※乗車実績について、事前資料提出を求める。

②さらに利用者を増やし、地域の足として定着させるためには、具体的にどのような手立てを講じていく考えか伺う。